

鉛筆 正しく持って

つるぎの建設会社



児童の鉛筆の持ち方を指導する井上組の社員ら—つるぎ町半田の半田小

半田小児童に「筆育」

子どもに鉛筆の正しい持ち方を身に付けてもらおうと、つるぎ町半田の建設会社「井上組」が、地元小学生対象の「筆育」に取り組んでいる。2012年から半田小で教室を開き、小さい頃に悪い癖がつかないように指導している。

11年12月に半田小近くの教育活動に貢献したの半田川で護岸改修工事「い」と思ったのがきっかけだ。

児童の姿を見た社長の井上組の建設業者（高知）上惣介さん（43）が「地域から筆育に取り組んでい

6年前から「成長の手助けに」

る森本智香さん（56）は高知市、児童書、おもちゃ専門店経営を紹介され、12年12月に1年生向けの教室を初めて開いた。

同社員らは、表面に3種類のキャラクターを描いた三角形の鉛筆を使い、それぞれのキャラクターに親指、人差し指、中指を重ねると正しい持ち方になると指導。児童や教師から好評だったため年1回、毎年5月ごろに教室を開いてきた。

14年秋からは、2年生以上にも筆育を定着させようと、会社事務所の一角を学習スペースとして開放。漢字ドリルなどを使って正しい鉛筆の持ち方を教えている。

1年の豊田月亜さん（6）は「自分の名前がうまく書けた。家でも練習したい」。井上社長は「子どもは地域の宝。今後も成長の手助けをしていきたい」と話している。（上田隆太郎）

徳島新聞

発行所 徳島市中徳島町2丁目
5番地2 (〒770-8572)
徳島新聞社
電話 (088) 655-7373
© 徳島新聞社 2018

2018年(平成30年)

7月7日
土曜日